小柴ホール AV 機器 基本使用説明書

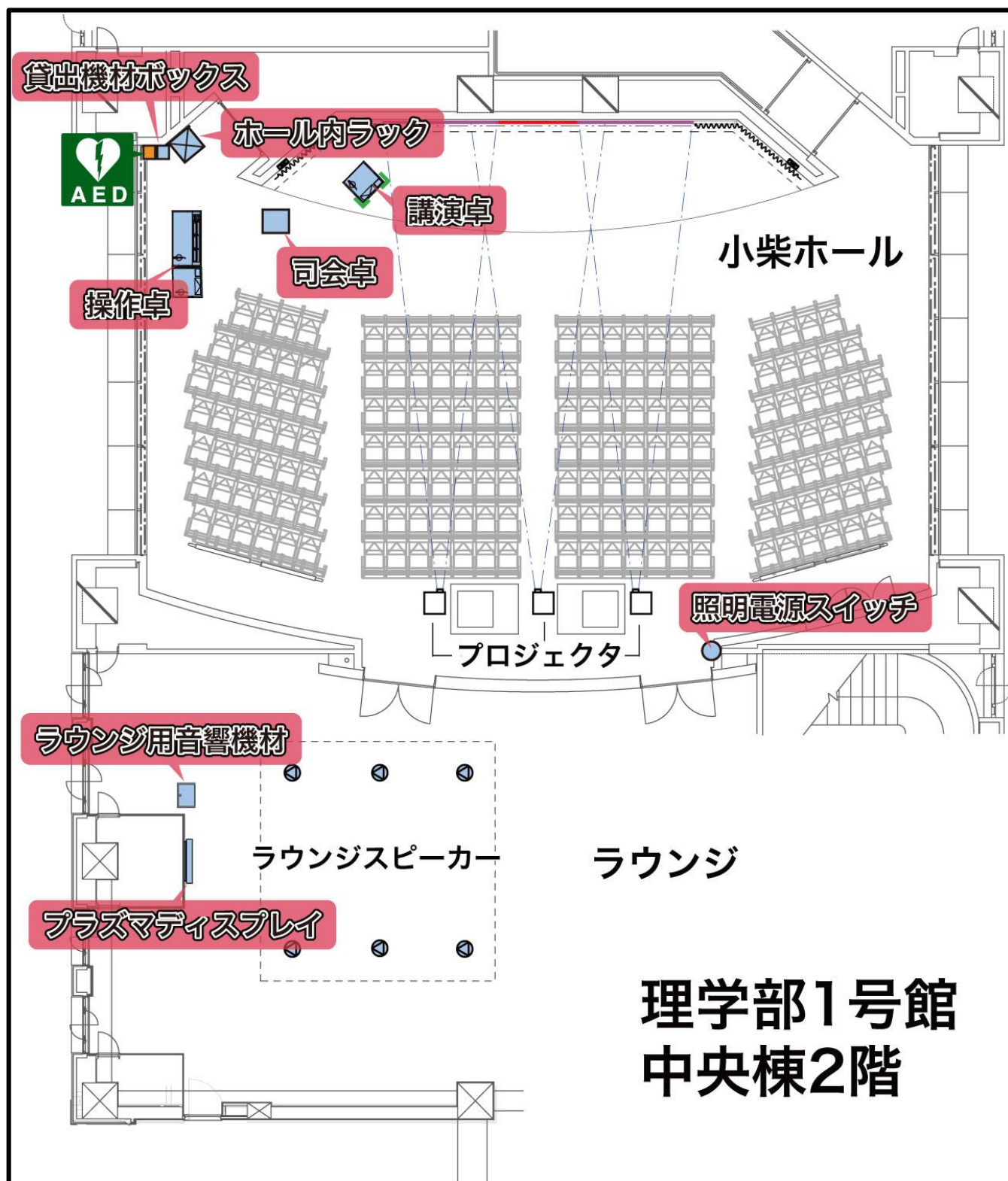
機器操作で不明な点がありましたら説明対応をいたします。ただし、その場での対応はできませんので、事前に説明予約をお取りください。

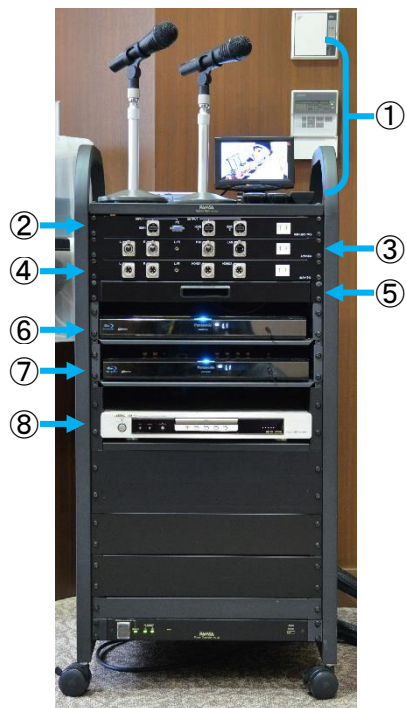
第 7 版(2) 2015.7

はじめに

本説明書は標準設定でのホールの基本的な AV 機器の使用方法および重要な注意事項を示しています。本書を参考のうえ、正しくお使い下さい。

小柴ホール内の機器等について

小柴ホールでは以下のように講演卓、備品等を設置しています。卓の移動、接続ケーブルの変更等をおこなった場合は使用後に必ず元の配置に戻して下さい。

◆ ホール内ラック

ホールのカメラ映像を録画・録音したり、DVD プレイヤーを使用したりするときに使用します。

① レコーダー用モニタ・リモコン・追加有線マイク・マイクスタンド
② 映像入出力パネル
③ 音声入力パネル
④ 音声出力パネル
⑤ テーブル（パネルに接続した機器を載せるのにお使い下さい）
⑥ レコーダー１
⑦ レコーダー２
⑧ DVD プレイヤー

ホール内ラックの上には以下の機材が置いてあります。

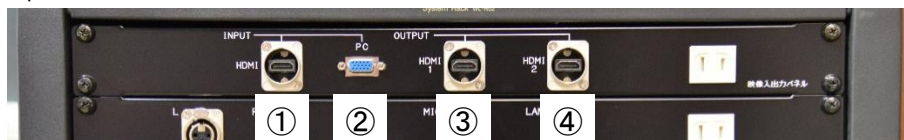
- 追加有線マイク　２本
  貸出機材ボックスに入っている有線マイク用ケーブルと接続して使用します。

- マイクスタンド　卓上用２本

ラック横に　起立用２本　置いてあります。

- レコーダー・DVD プレイヤー用スイッチャー・モニタ

- レコーダー用リモコン　２つ・DVD プレイヤー用リモコン

- 映像入出力パネル

① HDMI 入力端子（「ラック HDMI」端子）
② VGA 入力端子（「ラック PC」端子）
③ HDMI 出力端子（「HDMI OUT 1」端子）
④ HDMI 出力端子（「HDMI OUT 2」端子）

- 音声入力パネル

① XLR 左チャンネル入力端子（「入力パネルキャノン」端子）

② XLR 右チャンネル入力端子（「入力パネルキャノン」端子）
③ 3.5 mm ステレオミニプラグ入力端子（「入力パネルミニジャック」端子）
④ マイク入力端子（「入力パネルマイク」端子）
⑤ 有線 LAN 端子（ゲストネットワークがご利用いただけます）

- 音声出力パネル

① XLR 出力端子（左チャンネル）
② XLR 出力端子（右チャンネル）
③ 3.5 mm ステレオミニプラグ出力端子
④ XLR 出力端子（モノラル）
⑤ XLR 出力端子（モノラル）

◆ 貸出機材ボックス

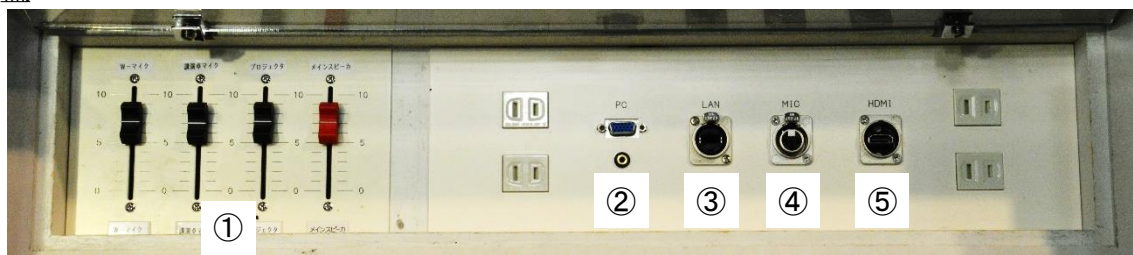
貸出機材ボックスには以下の機材が入っています。

- ハンド型ワイヤレスマイク　14 本

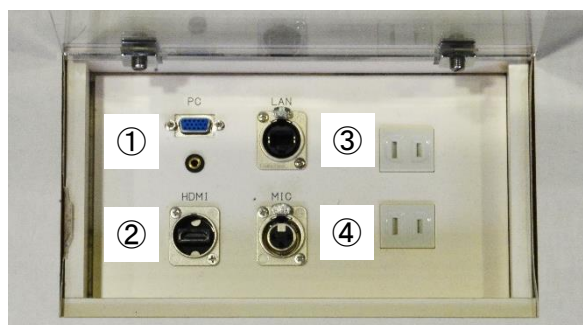
- ディスプレイ用 VGA ケーブル　６本
（10 m ×４本、1.8 m ×２本）

- 有線マイク用 XLR ケーブル　３本
（75 cm、10 m ×２本）

◆ 講演卓

- 端子盤

① 音量調節フェーダー
② VGA 端子・音声入力端子（「講演卓 PC」端子）
③ 有線 LAN 端子
④ マイク端子
⑤ HDMI 端子（「講演卓 HDMI」端子）

◆ 操作卓

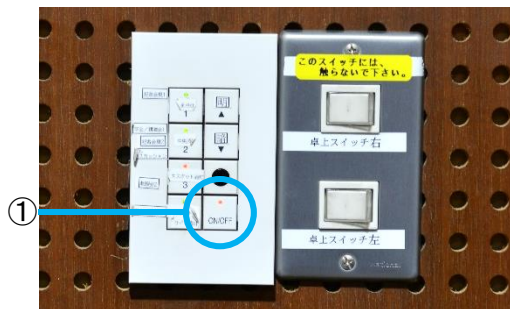
- 端子盤

① VGA 端子・音声入力端子（「操作卓 PC」端子）
② HDMI 端子（「操作卓 HDMI」端子）
③ 有線 LAN 端子
④ マイク入力端子（「操作卓マイク」端子）

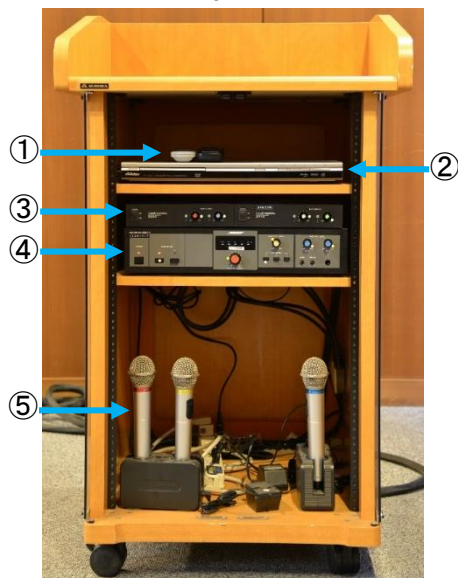
操作卓の引き出しの中には以下の機材が入っています。

- ピン型ワイヤレスマイク

- オーディオケーブル　３本

- DVD・CD
  （BGM 等用にご自由にお使い下さい）

◆ 照明電源スイッチ

① 照明メインスイッチ

◆ ラウンジ用音響機材

① プラズマディスプレイ･DVD プレイヤー用リモコン
② DVD プレイヤー
③ ワイヤレスマイクチューナー
④ アンプ
⑤ ワイヤレスマイク

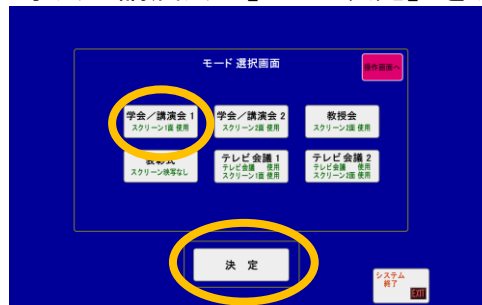
◆ プラズマディスプレイ

① 電源スイッチ（ディスプレイの裏側）

操作手順

ホールの利用を開始する

1. 照明メインスイッチを押して、ホールの電気をつける
2. 操作卓上のタッチパネルをタッチし、AV システムの電源をいれる

3. 「モード選択」画面で「学会／講演会１」→「決定」をタップする

次の画面に移るまでに３分ほどかかります。
モードについての詳細については、8 ページの「モードを選択する」をご覧ください。

4. メイン画面で「講演卓 PC」をタップする

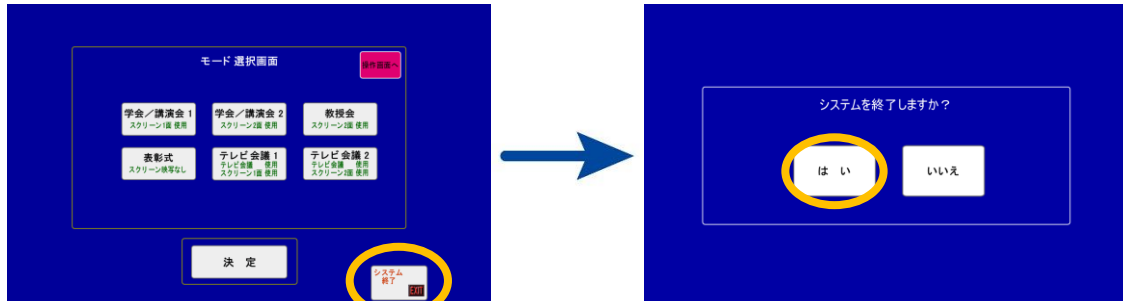
詳細については、9 ページの「PC・DVD をスクリーンに投影する」をご覧ください。

5. 講演卓上の VGA ケーブルを使用して PC を接続し、PC 上で外部出力操作をおこなう

6. 貸出機材ボックスから必要機材を準備し、利用を開始する

ホールの利用を終了する

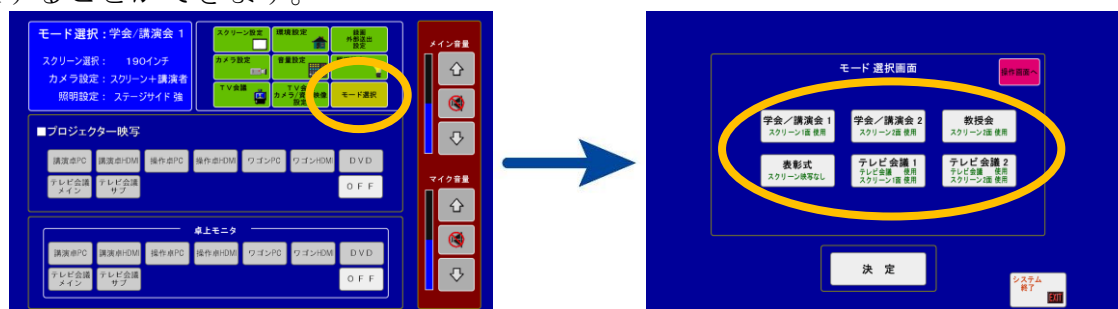
1. タッチパネルの「モード選択」をタップする

2. 「モード選択」画面で「システム終了」を選択し、「はい」を選択する

3. ホール内ラックの電源をオンにした場合は、オフにする
4. 使用したケーブル・ワイヤレスマイク等を元の位置に戻す
5. エアコンやプラズマディスプレイ等、個別に電源を入れた機器の電源を消す
6. 照明メインスイッチを押して、ホールの電気を消す

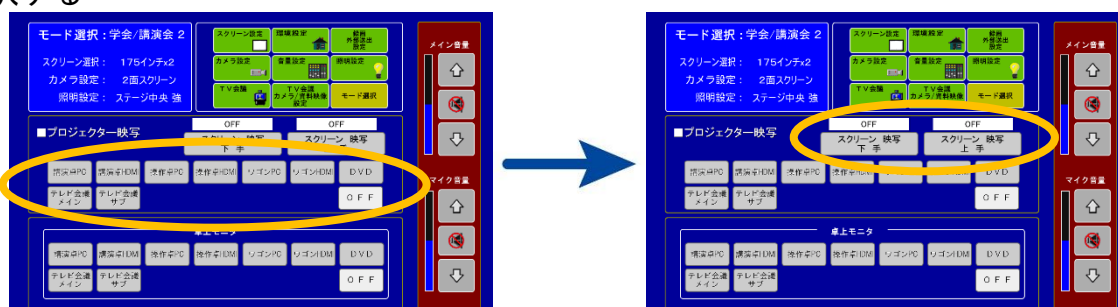
モードを選択する

バリカーテン・プロジェクタ・照明・カーテン・カメラのアングルが、あらかじめ６パターンプリセットされています。

モード名	説明
学会／講演会１	スクリーンを１面使用してプレゼンテーション等をおこなうときに選択します。
学会／講演会２	演者が演壇の中央に立ち、スクリーンを２面使用してプレゼンテーション等をおこなうときに選択します。
教授会	演者が演壇の中央に立ち、スクリーンを２面使用するときに選択します。
表彰式	スクリーンを使用せず、演壇を全体的に明るく照らすときに選択します。
テレビ会議１	画面の共有を伴わないテレビ会議をおこなうときに選択します。
テレビ会議２	画面の共有を伴うテレビ会議をおこなうときに選択します。

モードは、AV システムの起動直後に選択します。また、ホーム画面で「モード選択」をタップしても選択することができます。

PC・DVD をスクリーンに投影する

1. タッチパネルのメイン画面でプロジェクタに投影する映像ソースを選択する

スクリーンを 2 面使用する場合は、映像ソースを選択したあと、投影するスクリーンを選択する

映像ソース「講演卓 PC」「講演卓 HDMI」「操作卓 PC」を選択したとき

2. 各端子と PC をケーブルで接続する

3. PC 上で外部出力操作をおこなう
   （外部出力操作は使用する PC によって異なります。事前にご確認ください。）

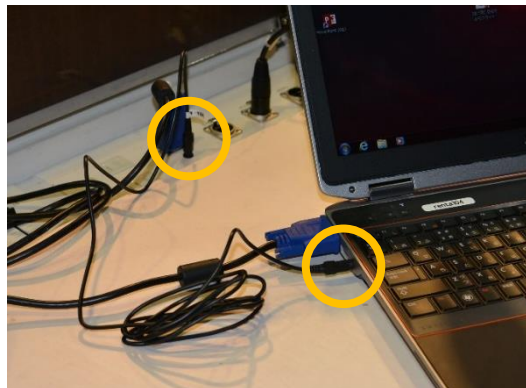
映像ソース「DVD」を選択したとき

2. DVD プレイヤーの電源をオンにして、再生を開始する
   DVD プレイヤーはホール内ラック中段に、プレイヤーのリモコンはホール内ラックの上

にあります。なお、BD の再生は未対応です。お手持ちの BD プレイヤーをお使いください。

PC の音声をホールで再生する

映像ソース「講演卓 PC」「操作卓 PC」を選択したとき

- 操作卓左の引き出しにある 3.5 mm ミニプラグケーブルを使用して、VGA 端子の手前にある音声入力端子と PC を接続する

映像ソース「講演卓 HDMI」を選択したとき

PC 側で適切に設定されていれば、HDMI ケーブルで接続するだけで音声を再生できます。

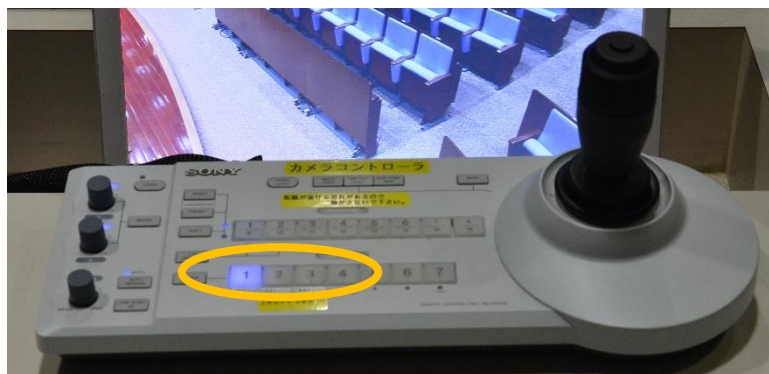
映像をモニタする

操作卓上のモニタで、PC・DVD・テレビ会議システムの映像をモニタすることができます。プロジェクタに投影する前にあらかじめ映像をチェックすることができます。

- ホーム画面下段の「卓上モニタ」でモニタしたい映像ソースを選択する

カメラのアングルを調整する

小柴ホールには、ホール後方上手、ホール後方下手、ホール前方下手の 3 カ所の天井にカメラが設置してあります。カメラの映像は、ホールの様子の録画・テレビ会議・2F/1F プラズマディスプレイと第 4 会議室への送出に使用します。これらのカメラのアングルは、操作卓上のカメラ用モニタを見ながら調整します。

1. 操作卓上のカメラコントローラーのスイッチャでアングルを調整するカメラを選択する

カメラコントローラーのスイッチャを変更しても、録画やテレビ会議等のスイッチングは変更されません。

2. **操作卓上のジョイスティックを傾けてアングルを調整する**
   ジョイスティックのリングを回してズームを調整する

ホールの様子を録画する

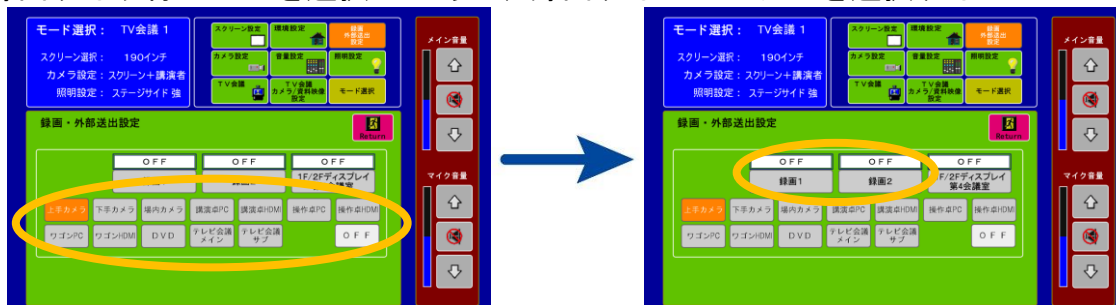
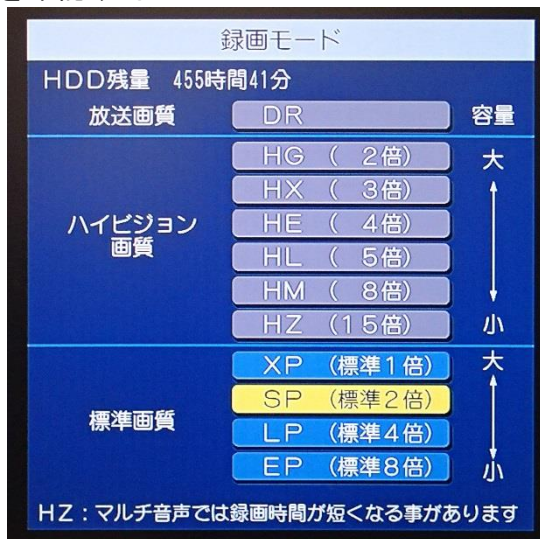
ホール内カメラの映像や、テレビ会議の映像を HDD レコーダーに録画しておき、ホール利用終了後に DVD に書き出すことができます。**HDD レコーダーは２台ありますので、任意の映像を２つまで録画することができます。**

録画データは、およそ１ヶ月を保存しています。ただし、録画状況により早く削除する可能性がありますので、後日書き出し作業を行われる方は早めに理学系研究科総務担当にて書き出しの予約を行ってください。

また、映像入出力パネルの HDMI OUT 1/HDMI OUT 2 端子からも、同じ映像が出力されます。お手持ちの HDMI レコーダーや映像配信機器を HDMI OUT 1/HDMI OUT 2 端子に接続する場合も同じ手順で映像ソースを選択してください。

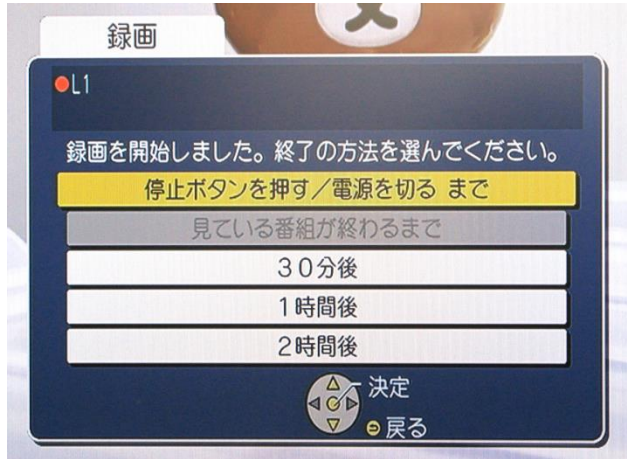
HDCP（デジタルコピー保護）のかかった映像は録画できません。

1. タッチパネルのメイン画面で「録画・外部送出設定」をタップする

2. 録画する映像ソースを選択したあと、録画するレコーダーを選択する

4. レコーダーのリモコンの録画モードボタンを押して、ホール内ラック上のレコーダー用モニタで「SP」に設定されていることを確認する

レコーダー用モニタの映像切り替えはホール内ラック上のスイッチャーを使用してください。

5. レコーダーのリモコンの録画ボタンを押す

録画ボタンを押すと、録画の開始と同時に終了方法の選択画面がレコーダー用モニタに表示されます。

6.　「停止ボタンを押す／電源を切る まで」を選択した状態で決定ボタンを押す

録画中はレコーダー本体に録画マークが表示されます。
録画中も録画する映像ソースやカメラを変更することができます。

7.　**レコーダーのリモコンの停止ボタンを押して録画を終了する**

停止すると、レコーダー本体の録画マークが消えます。
書き出し作業の簡略化のため、**1 回の録画時間は 2 時間以内に収めてください**。2 時間を超えた場合、書き出し前に編集作業が必要となります。

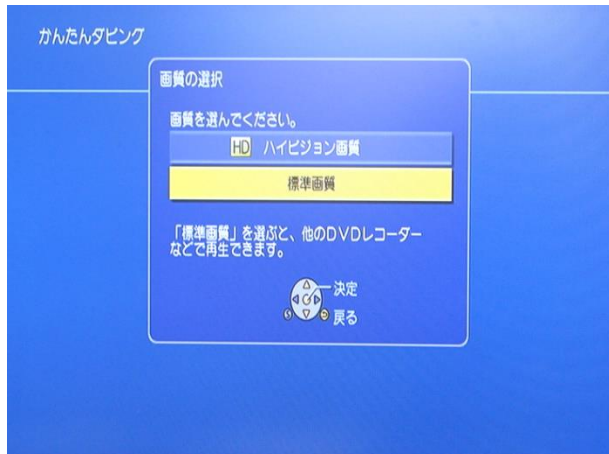
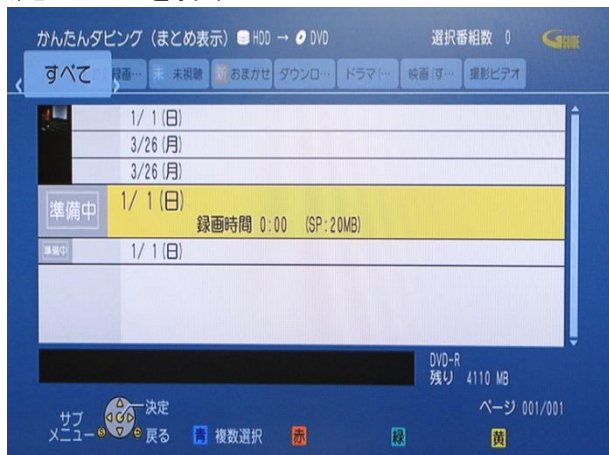
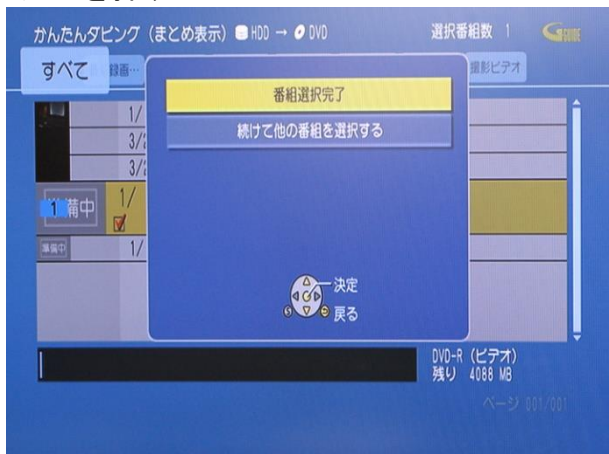
◆ 録画データを DVD に書き出す

録画データの書き出しには、約 2 時間あたり 1 枚の DVD-R（4.7GB）が必要です。

1.　**レコーダーに空の DVD-R を挿入する**
ディスクトレイ開閉ボタンは本体右上部にあります。

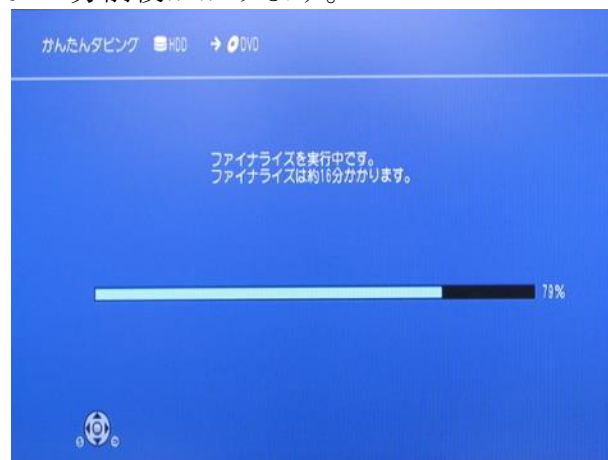
2.　**リモコンのスタートボタンを押す**

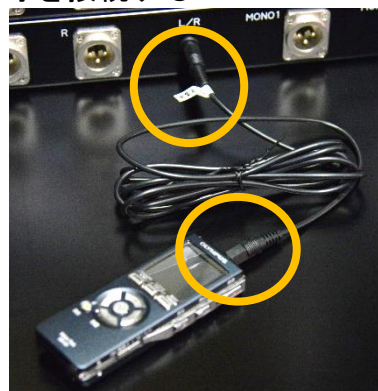
3.　**メニュー画面で「かんたんダビング」を選び、決定ボタンを押す**

4.　「標準画質」を選び、決定ボタンを押す

5.　書き出したい録画データを選び、決定ボタンを押す

6.　「番組選択完了」を選択して決定ボタンを押す

ディスク容量に空きがあり、1枚のディスクに複数の録画データを書き出したい場合は「続けて他の番組を選択する」を選択して決定ボタンを押し、5の手順を繰り返してく

ださい。（選択した順番にダビングされます。）

7. **オプション設定が図のようになっているか確認し、「ダビング開始」を選択した状態で決定ボタンを押す**

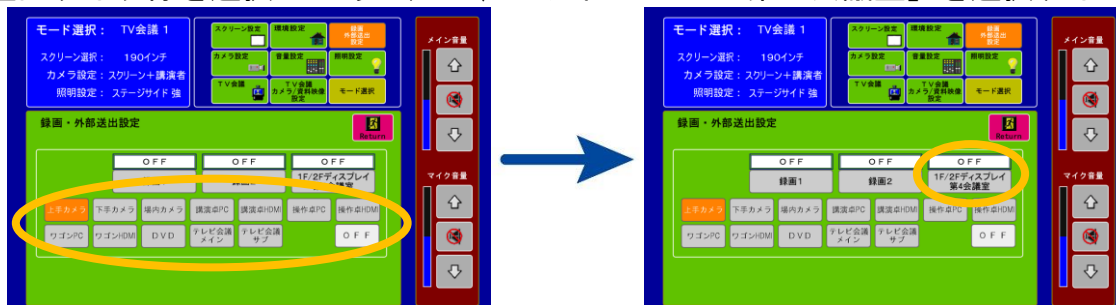
ダビングが始まります。ダビングが終了すると自動的にファイナライズが始まります。すべて完了するまで 20 分前後かかります。

ホールの様子を録音する

- **操作卓左の引き出しにある 3.5 mm ミニプラグケーブルを使用して、ホール内ラックの 3.5 mm 出力端子とお手持ちの IC レコーダー等を接続する**

ホール内ラックの 3.5 mm 出力端子の信号は**マイクレベル**に設定されています。

ホールの様子をラウンジ・会議室へ送出する

2F/1F のプラズマディスプレイと第４会議室に場内カメラの映像を送出することができます。ホール内にお客様が入りきらなかった時などにご利用ください。**なお、2F/1F のプラズマディスプレイと第４会議室に送出する映像は異なるものを設定することはできません。また、HDCP（デジタルコピー保護）のかかった映像は送出できません。**

1.　タッチパネルのメイン画面で「録画・外部送出設定」を選択する

2.　送出する映像を選択したあと、「1F/2F ディスプレイ　第４会議室」を選択する

プラズマディスプレイの操作方法については 6 ページを、第４会議室の機器の操作方法については第４会議室内の取扱説明書、ラウンジの音響機器の操作方法については 21 ページをご覧ください。

音量を調整する

1.　タッチパネルのメイン画面で「音量設定」を選択する

2.　各音声ソースの音量を調整する

ソース名	説明
ワイヤレス	ワイヤレスマイクの音量を調整します。 一本一本の音量を独立に調整することはできません。
講演卓有線マイク	講演卓のマイク端子に接続したマイクの音量を調整します。
操作卓有線マイク	操作卓のカメラモニタの脇のキャノンケーブルに接続したマイクの音量を調整します。
入力パネルマイク	ホール内ラックの入力パネルのマイク端子に接続したマイクの音量を調整します。
プロジェクタ投影映像	スクリーンに投影中の PC の音量を調整します。 **DVD プレーヤーの音量は、「DVD プレーヤ」で調整します。**
DVD プレーヤ	DVD プレーヤーの音量を調整します。
TV 会議	テレビ会議システムの音量を調整します。 **起動直後は音量が最小に設定されています。**
入力パネルミニジャック	ホール内ラックの入力パネルの 3.5 mm ミニプラグ端子に接続した機器の音量を調整します。
入力パネルキャノン	ホール内ラックの入力パネルのキャノン端子に接続した機器

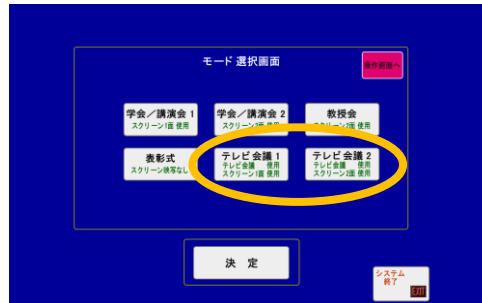
	の音量を調整します。

なお、操作卓右の引き出しのフェーダーを使用しても音量の調整は可能です。

テレビ会議システムを使用する

小柴ホールの AV システムでは、テレビ会議システムの基本的な操作をすることができます。相手方カメラの操作（アングルの変更・ズーム）や、MCU に接続したときの十字キーを使用した操作、IP アドレス以外の入力はおこなうことができません。これらの操作をおこなう必要がある場合は別途テレビ会議システムのリモコンを貸し出しますので、あらかじめ申請して下さい。
小柴ホールのテレビ会議システムの IP アドレスは 133.11.26.103 です。

◆ 使用の準備をする

1. **「テレビ会議１」または「テレビ会議２」モードで AV システムを起動する**

カメラ映像のみを使用する場合は「テレビ会議１」、PC 画面の共有をおこなう場合は「テレビ会議２」を選択します。

2. **ホーム画面で、スクリーンと卓上モニタの両方で「テレビ会議メイン」を選択する**

3.　ホーム画面で「音量設定」をタップする

4.　「TV 会議」の音量を、８割くらいまで上げる

◆ こちらから通話を開始する

1.　「テレビ会議」をタップする

2.　「ホーム」→「ＯＫ」とタップしたあと、数字ボタンで相手先の IP アドレスを入力し、「接続」をタップする
着信履歴が表示された場合は、「ホーム」をもう一度タップしてください。
入力した IP アドレスは卓上モニタで確認することができます。ピリオドの代わりに「*」を入力して下さい。
ボタンを連打すると正しく処理されません。ひとつひとつゆっくり押して下さい。

3.　通話が終了したら、「切断」を２回タップする

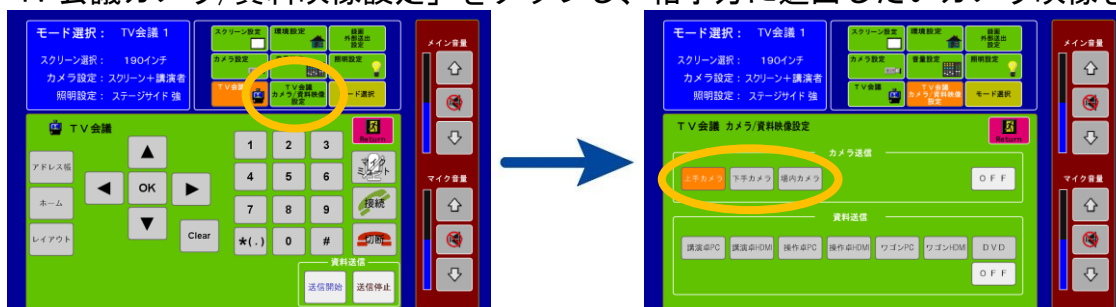
◆ 通話を受ける

1.　「テレビ会議」をタップする

2.　相手方から着信すると着信音が流れ、スクリーンに相手方の情報が表示されるので、「接続」をタップする

3.　通話が終了したら、「切断」を２回タップする

◆ カメラ映像の調整をおこなう

●　「TV 会議カメラ/資料映像設定」をタップし、相手方に送出したいカメラ映像を選択する

◆ PC 画面の共有をおこなう（相手方から PC 画面を送ってもらう）

●　ホーム画面で「テレビ会議サブ」を選択したあと、投影するスクリーンを選択する

相手方で PC 画面が共有されると、自動的にスクリーンに投影されます。

◆ PC 画面の共有をおこなう（こちらの PC 画面を相手方に送る）

1. TV 会議カメラ/資料映像設定画面で「資料送信機器選択」の中から相手方に送る映像ソースを選択する

2. TV 会議画面に戻り、「送信開始」をタップする

3. PC 画面の共有を終了する場合は、「送信停止」をタップする

ラウンジ用音響機材を使用する

ラウンジ用音響機材を使用すると、ラウンジで、マイクを使用したアナウンス、DVD の再生、小柴ホール内の映像・音声の再生をおこなうことができます。

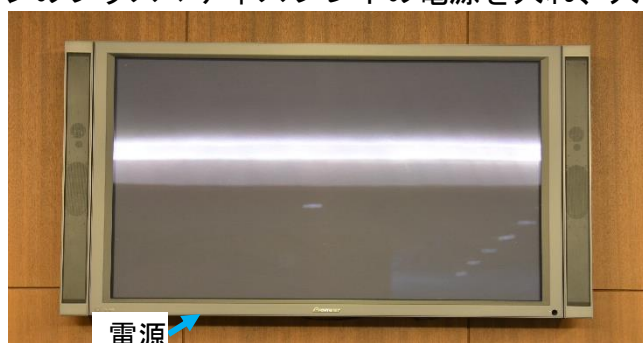
◆ マイクを使用する

1. **ワイヤレスマイクチューナー・アンプの電源を入れる**
   写真で示した 3 箇所の電源を入れて下さい。

2. **ワイヤレスマイクの電源を入れて使用する**
   ワイヤレスマイクの音声は天井のラウンジスピーカーからのみ再生されます。
   マイクの音量を調整する場合は、写真で示した 2 箇所のノブを回して下さい。

3. **使用が終了したら、ワイヤレスマイクの電源を消して充電台に戻し、ワイヤレスマイクチューナー・アンプの電源を消す**

◆ DVD を再生する

1. **ラウンジのプラズマディスプレイの電源を入れ、入力を DVD プレイヤーに切り替える**

2. **DVD プレイヤーのリモコンで DVD プレイヤーを操作し、再生を開始する**
   DVD プレイヤーの音声はプラズマディスプレイからのみ再生されます。音量を調整する場合は、プラズマディスプレイのリモコンの VOLUME ボタンを押して下さい。

3. **使用が終了したら、プラズマディスプレイと DVD プレイヤーの電源を消す**

◆ 小柴ホール内の映像・音声を再生する

ホール内の映像・音声を再生するには、ホール内であらかじめ送出の設定をおこなう必要があります。詳しくは 15 ページをご覧ください。

1. **ラウンジのプラズマディスプレイの電源を入れ、入力を小柴ホールに切り替える**

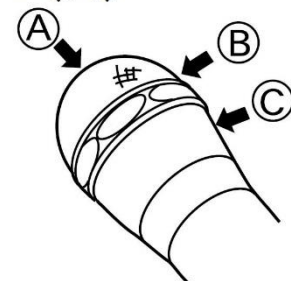
音量を調整する場合は、プラズマディスプレイのリモコンの VOLUME ボタンを押して下さい。

2. **音量が足らない場合は、アンプの電源を入れる**

ラウンジスピーカーからも小柴ホールの音声が再生されます。
音量を調整する場合は、写真で示したノブで調整します。

3. **使用が終了したら、プラズマディスプレイとアンプの電源を消す**

マイクの使用について

マイクは使用する口の向きによって感度が変わります。Ⓑ、Ⓒの向きでは 2~5 割に性能が落ちてしまうので、口をⒶの向きに合わせてご使用ください。マイクは口から 5~10 cm ほど離してご使用ください
※電池切れ、また調子の悪いマイクがありましたら理学系研究科総務担当までお持ちください。

ネットワークについて

小柴ホールでは有線 LAN・無線 LAN のゲスト用ネットワークを利用することができます。
有線 LAN の端子は、講演卓・操作卓・ホール内ラックの３カ所にあります。利用するにあたり、事前の申請は不要です。
無線 LAN を利用するには、事前に設定の申請を出す必要があります。利用の１週間前までに「無線 LAN 設定申込書」を理学系研究科総務担当に提出してください。
ゲスト用ネットワークはフィルタリングブリッジによるフィルタリングを行っております。そのため、全てのネットワークアプリケーションの利用を保障するものではありません。
接続する PC のセキュリティの管理は各自の責任で行ってください。ゲスト用ネットワーク使用によるいかなる損害も責任を負いません。
ゲスト用ネットワークは全ての P2P アプリケーションの利用を禁止しています。P2P アプリケーションの使用があった場合には、即時ネットワーク設定を解除します。
その他、他のネットワーク利用者への迷惑となる行為があった場合にはゲスト用ネットワークの利用を停止します。

ご利用中のお問い合わせ先

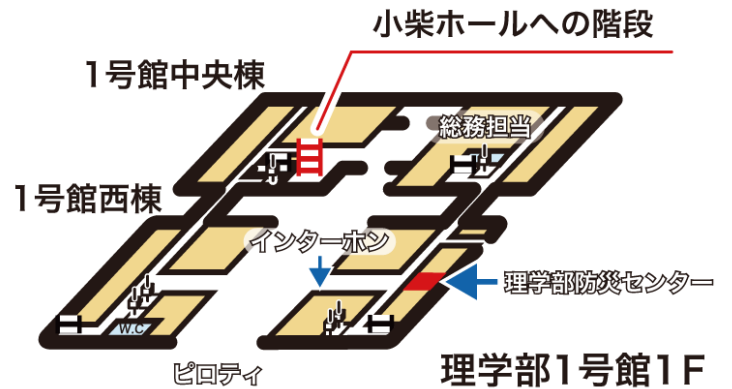
◆ 平日の利用時

ホールの予約、鍵の貸出、机及び椅子の貸出、照明等の消耗品の交換について
理学系研究科総務担当（理学部１号館中央棟１階・03-5841-8346）
※利用当日の機器操作説明は受け付けておりません。
※事前の操作説明をご希望の方は、１週間前までに「施設確認／DVD 書き出し申込書」を理学系研究科総務担当にご提出ください。

◆ 休日の利用時

ホールの鍵の貸出、照明等の消耗品の交換について
防災センター（理学部１号館西棟１階・03-5841-4016）
※休日の技術サポートは行っておりません。

休日のホール利用について

土日祝日は理学部の扉は施錠されています。
右記地図のインターホンにて防災センターに連絡して、鍵の解錠、また小柴ホールの鍵を受け取ってください。
休日のサポートは消耗品、照明等の交換以外は受け付けておりません。
ホールの使用方法、持込機材の動作の確認は、必ず事前の施設確認時（平日のみ）に行ってください。

困ったときは

◆ プロジェクタについて

画面が映らない

- PC と VGA ケーブルまたは HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- PC からの外部出力操作を確認してください。
- タッチパネル上で映像ソースが正しく選択されているか確認してください。

色の表示がおかしい

- PC と VGA ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 使用している VGA ケーブルが損傷している可能性があります。貸出機材ボックスにある他の VGA ケーブルと交換してください。

画面の表示がおかしい

- プロジェクタと PC のグラフィックカードとの相性で画面がちらついたり、ずれたりするなどの症状が発生することがあります。VGA ケーブルではなく HDMI ケーブルで接続すると改善されることがあります。

動画の表示がおかしい

- 通常、動画はプロジェクタ、PC のディスプレイの両方に出力できません。プロジェクタの画面にてご確認ください。
- プロジェクタに表示されず、PC のディスプレイに表示される場合は、PC がプライマリ表示になっている可能性があります。外部出力にプライマリ表示を割り当ててください。

プロジェクタのランプが暗い、または切れている

- 平日は理学系研究科総務担当まで、休日は理学部防災センターまでご連絡ください。

照明の電球が切れている

- 平日は理学系研究科総務担当まで、休日は理学部防災センターまでご連絡ください。

◆ HDD 録画について

録画ができない

- HDD レコーダのリモコンの機能切替ボタンで「HDD」を選択後、再度録画操作を行ってください。(このトラブルは録画ビデオの書き出しを行った方が機能切替を戻していないことが原因で起こります。機能切替を行った場合は、使用後必ず『HDD』に戻してください。)

◆ 音響関係

ワイヤレスマイクで音声が途切れる、または全く出力されない

- マイクには指向性があります。マイクと口の向きをそろえて使用してください。(22 ページをご覧ください。)
- システム起動時のエラーの可能性があります。タッチパネル右上の「メイン音量」をミュートにし、解除してください。以上の手順でも出力されない場合はシステムを再起動してください。それでも不具合が改善されない場合は有線マイクを使用してください。

厳守事項

- **システム機材室は立ち入り禁止です。また本書で説明していない配線の変更も禁止します。**許可を得ていないシステムの変更で生じた不具合(勝手な設定変更)の修復に要する費用については、利用代表者の方に負担していただきます。すでに事例があります。
- 小柴ホールの照明は、基本使用に適した効果が得られるよう調整してありますので、**照明の変更は一切禁止**しております。但し、完全な原状復帰を条件に例外を認める場合があります。事前の機器操作説明の際にシステム担当者と原状を確認のうえ、「小柴ホール利用環境確認表」にて、変更内容を届け出、使用後は必ず原状復帰をしてください。原状復帰が確認されなかった場合の修復に要する費用については、利用代表者の方に負担していただき、次回からの利用をお断りします。
- ホール使用後は使用時に出た**ごみの回収を含めた原状復帰**をお願いします。
- 機材は丁寧に使用してください。
- **ホール内での飲食は禁止**です。観客の行為についても代表者の責任となります。
- 事前に申請を受けていない**利用当日の急な設定変更や、利用当日の操作説明は一切受け付けていません**。
- 土日祝日は照明等の消耗品の交換以外のサポートは受けられません。
- 本書以外の操作を行う場合は必ず利用環境確認表を提出し、事前の施設確認時に機器操作説明を受けてください。